



第22回 みやぎ木造住宅コンクール

入賞作品集（令和2年度版）



宮城県木材協同組合





優良賞 (一社)宮城県建設職組合連合会 会長賞(施工部門)

- 施主 個人(所在地:川崎町)
- 施工者 仙台市宮城野区岩切字青津目5-1
株式会社 創建築 ☎022-796-7041
- 設計者 同上
- 床面積 144.91㎡(1階 81.15㎡ 2階 63.76㎡)
- 木材の使用量 26.00㎡(うち県産材 26.00㎡)

講評

町中心部の旧街道沿いにある既存住宅の一部を若夫婦の為に建替えました。本作品は施主と創り手が一緒にHEMS(家庭で消費するエネルギーを最適に制御するシステム)を採用し、積極的にIoT化を図ったものです。当然ながら通常の工程の他に多種の電気配線が出るため、これまでと同じ納まりにすることに十分な配慮が必要になります。従来の自然素材による真壁造と違和感なく納めた造りに、木構造に設備が同居したこれまでとは違った感性の技量を感じられます。将来には本作品の示す設備を必要とする時代が来ます。その意味でまた新たな「みやぎの家」が生まれました。木造の持つ温もりと伝統工法に加えた新たな発想がどのように住まい方に展開するか楽しみです。



最優秀賞 宮城県知事賞

- 施主 個人(所在地:仙台市泉区)
- 施工者 柴田郡柴田町船岡中央1-9-12
株式会社サカモト ☎0224-58-1100
- 設計者 柴田郡柴田町船岡中央1-9-12
株式会社サカモト 一級建築士事務所 ☎0224-58-1100
- 床面積 123.38㎡(1階 76.18㎡ 2階 47.20㎡)
- 木材の使用量 21.58㎡(うち県産材 18.72㎡)

講評

坂道を上る途中にある住宅は、真新しい杉板の壁とゆったり感じさせる外構が時間を経た街並みの中で新鮮な印象を与えています。住宅団地の中でも自然を豊かに感じられる様に構成されたプランは毎日の暮らしをやさしく支えます。施主の希望を丁寧に形にした設計と施工の組み合わせが高い表現力でまとまった作品です。リビングダイニングを中心に和室、ストーブのある縁側、キッチンを一体とした広がりのある連続空間は家族をいつも感じられるものです。その空間を太い柱、リズム感のある天井梁等で落ち着きを感じさせ、考え抜かれた部材配置ひとつひとつに見られる仕事が、この家の完成度を感ずる愛情のあふれた「みやぎの家」です。家族の成長と共に自然な変化を楽しむことが出来る長く愛される住宅として誕生しました。



優秀賞 宮城県木材同友会 会長賞(木材利用部門)

- 施主 個人(所在地:石巻市)
- 施工者 仙台市宮城野区岩切字青津目5-1
株式会社 創建築 ☎022-796-7041
- 設計者 石巻市北上町十三浜字小指33-1
有限会社ササキ設計 ☎0225-61-2215
- 床面積 120.07㎡(1階 72.87㎡ 2階 47.20㎡)
- 木材の使用量 27.10㎡(うち県産材 23.70㎡)

講評

防災集団移転団地内に建つ住宅は、控えめな色彩の焼杉と漆喰の外壁で風景に溶け込んでいます。安定した切妻の屋根を持つ外観は、落ち着いた風情で訪れる人を迎えてくれます。機能的に置かれた玄関は、暮らすに十分な収納を備えストープのある居間とお茶ができるダイニングに直接繋がります。奥の和室も回遊できる動線となっており、客が宿泊する時の使い勝手も良いものです。2階への階段もリビングからは直接見えないものの、2階床吹き抜けを通して室内空間が一体になるように構成されています。これまで多くの住宅建設にかかわってこられた施主の誕生時に親が自己所有の山に植えてくれた杉を伐採製材利用した、地産地消型の理想的自然循環型住宅です。



優秀賞

(一社)宮城県建築士事務所協会 会長賞(設計部門)

- 施主 個人(所在地:石巻市)
- 施工者 宮城郡利府町加瀬字新町頭96-2
有限会社 伊藤工設計 ☎022-356-9460
- 設計者 同上
- 床面積 140.11㎡(1階 73.00㎡ 2階 67.11㎡)
- 木材の使用量 26.07㎡(うち県産材 15.69㎡)

講評

旧住宅地に建替えられた3世代のためのHEAT20 G1グレードとした高断熱性能住宅です。プランの中心にリビング吹き抜けと階段を配し空間軸としながら各部屋が繋がるようになっています。この軸空間は家族を結ぶ役割を果たし、世代間のコミュニケーションと室内の環境が同じように良好なものとなりました。40坪の空間を1台のエアコンで過ごせる最新の性能を持つこと、それに依るオープンな空間で多世代と一緒に暮らせる住宅になった事は、また新たな住宅の可能性を示しています。それに加え、趣味の良いダイニングテーブルと椅子が配され季節の花木をしつらえることでより居心地の良い空間を創り出しており、施主と設計施工の良い関係がそのまま形になっています。



優良賞 (一社)宮城県建築士事務所協会 会長賞(設計部門)

- 施 主 個人(所在地:松島町)
- 施 工 者 宮城郡松島町高城字町138
タカハシ木材style株式会社 ☎022-353-2253
- 設 計 者 宮城郡松島町高城字町138
タカハシ建築工房 一級建築士事務所 ☎022-353-2253
- 床 面 積 80.73㎡(1階 80.73㎡)
- 木材の使用量 18.01㎡(うち県産材 14.47㎡)

講評

観光地にある幹線道路から奥まった位置の丘陵を背にした敷地に建つ夫婦の為の平屋建て住宅です。南北を軸としたプランは、東面の斜面と西面の住宅景観を借景としたピクチャーウィンドウを設け、プライバシーを守りながら自然をより美しく感じ、日常の生活を豊かにする空間構成としました。室内を構成する各要素ごとに与えられた樹種の違った木の表情が、より豊かな空間を演出することに成功しています。豊かな樹種の木肌が織り成すハーモニー、日常が心地良いプラン、居心地の良さを倍増させる施主と創り手のセンスが共振した感性を高く感じさせる空間となりました。



特別賞

- 施主 個人(所在地:気仙沼市)
- 施工者 仙台市青葉区向田17-16
共栄ハウジング株式会社 ☎022-355-5175
- 設計者 仙台市青葉区八幡一丁目10-14-101
有限会社ササキ設計 ☎0225-61-2215
- 床面積 132.49㎡(1階 110.55㎡ 2階 21.94㎡)
- 木材の使用量 26.72㎡(うち県産材 19.52㎡)

講評

被災地の土地区画整理事業地内での復興住宅です。街中の既存住宅地域での復興は時間を必要とし、本格的な建設はこれからです。その空地が目立つ中、大屋根の本作品はこれからの復興に向けた意思を強く感じるものです。現在は夫婦でお住まいですが家族が増える事も考えプランされた空間は、玄関からリビングダイニング、和室と一体になる屋根裏まで大きく吹き抜けた空間構成とし、太い丸柱、梁、小屋組みを現し組まれた木材の力強さにも復興に向けた強い意志を感じます。リビングの玄関と一体の土間には居間に上がらなくとも框(かまち)に腰かけストーブを囲んで気軽に談笑出来るなど、訪れる人との会話と施主の日常が一体となったこれからの復興推進の中心となる空間を提供しています。柔らかな木の表情が人の心を豊かに元気づけてくれる作品です。

第22回 みやぎ木造住宅コンクール 入賞作品集 (令和2年度版)

主催:宮城県木材協同組合 協賛:宮城県木材需要拡大協議会、みやぎ材利用センター

後援:宮城県、(一社)宮城県建設職組合連合会、宮城県木材同友会、(一社)宮城県建築士事務所協会、「地域優良住宅」在来工法の会

発行:令和3年2月 企画・編集:宮城県木材協同組合 〒981-0908 仙台市青葉区東照宮一丁目8-8 TEL.022-233-2883 FAX.022-275-4936